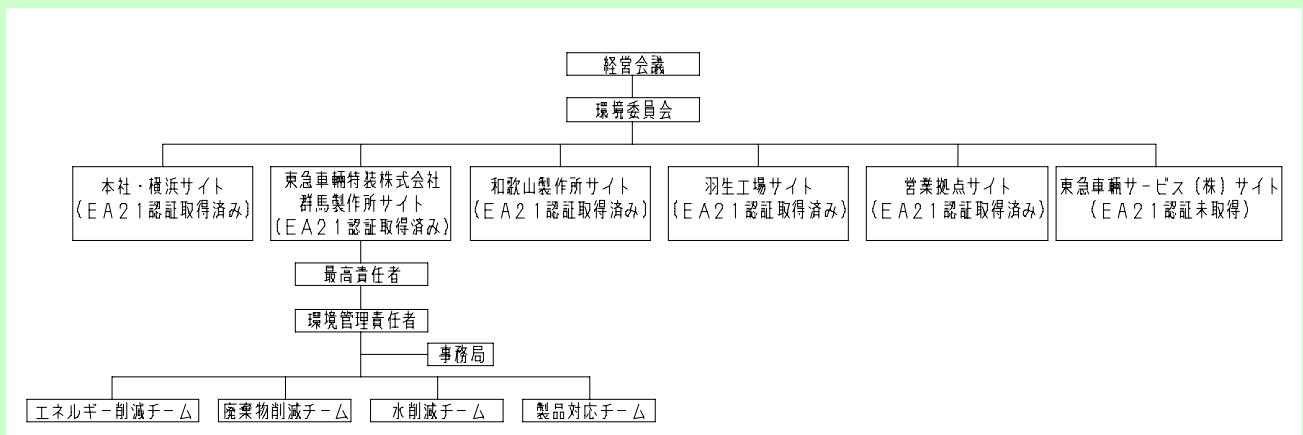


環境負荷物質削減への取り組み

当社は2005年より、環境活動評価プログラム「エコアクション21」に基づく環境マネジメントシステムを構築し、広く社会から評価される製品造りと環境にやさしい事業活動を行ってまいりました。その一環として、(社)日本自動車車体工業会から発表された「商用車架装物に関する3R「判断基準」ガイドライン」を基に、当社の主力製品であるトレーラについて、国内で唯一走行装置も内製していることから、機能上困難といわれた走行装置を含め、環境負荷物質(Substance of Concern:以下、SOC)削減、フリー化に取組んでまいりました。その結果、一部の代替が困難な部品、および顧客指定部品を除くトレーラの一般標準部品において、(社)日本自動車車体工業会のSOC削減自主目標を達成いたしております。

【担当組織図】



【SOC 4物質の削減経緯】

対象物質	削減目標	除外内容	しきい値 (非意図的含有)	2007	2008	2009	2010	2011以降
鉛	2007年度に鉛使用量を2002年度の1/2以下に削減	バッテリー、ハンダ、快削鋼中の鉛を除く	1000PPM			黄色、オレンジ色の切替未		除外品を含め実施予定
水銀	2006年度に除外部品を除き使用禁止	放電管型電球、蛍光灯、メータディスプレイ中のものをのぞく	1000PPM	実施済				
カドミウム	2007年1月以降使用禁止		100PPM	2007年度調査完了 カドミウム含有部品 263部品中2部品切替			実施済	
6価クロム	2008年1月以降使用禁止	シリンダのクロムメッキを除く	1000PPM		実施済			

今後とも、広く社会から評価される製品造りと環境にやさしい事業活動を行う方針を推進し、他の機種製品にSOC削減を展開します。
また、開発、設計段階から、製品の環境評価を実施し、より環境に配慮した製品の供給に努めてまいります。